



08

神

BASE Is Biblical And Solid Essentials

GOD

Introduction

序論



“

神について正しい認識を
持つことが
きわめて重大なのです。
神についての認識が
私たちのすること全てを
規定します。

—James Bryan Smith

神について学び
神との関係を
今一度
見直したい

- 01 神の統一性
- 02 神の性質概論
- 03 神についての討論Ⅰ
- 04 神についての討論Ⅱ

Chapter 1

神の統一性

Section 1-1

神は三位一体

聞け、
イスラエルよ。
主は
私たちの神。
主は
唯一である。

申命記 6:4

シェマ
聞け、

イスラエル
イスラエルよ。

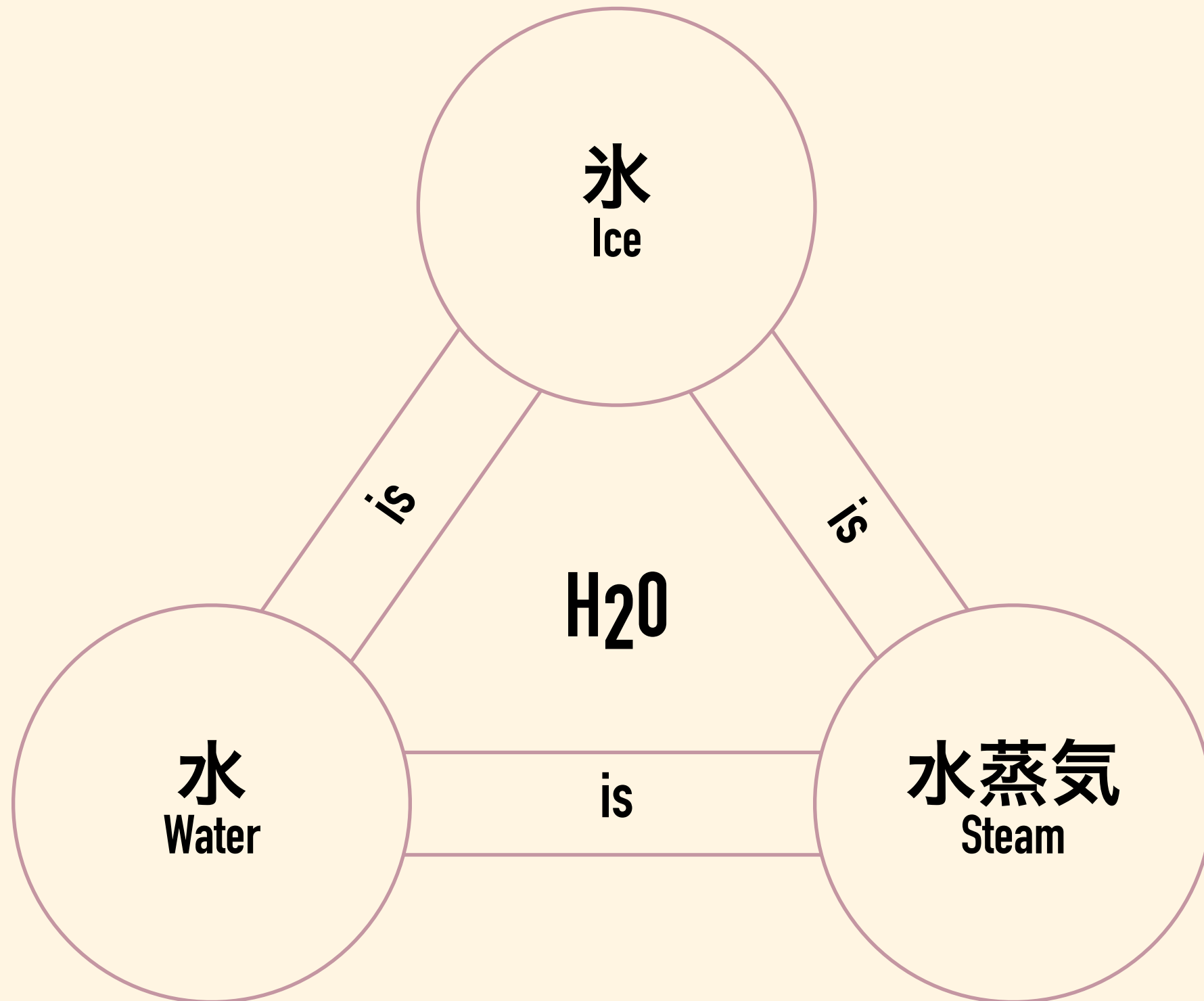
アドナイ
主は

エロヒム
私たちの神。

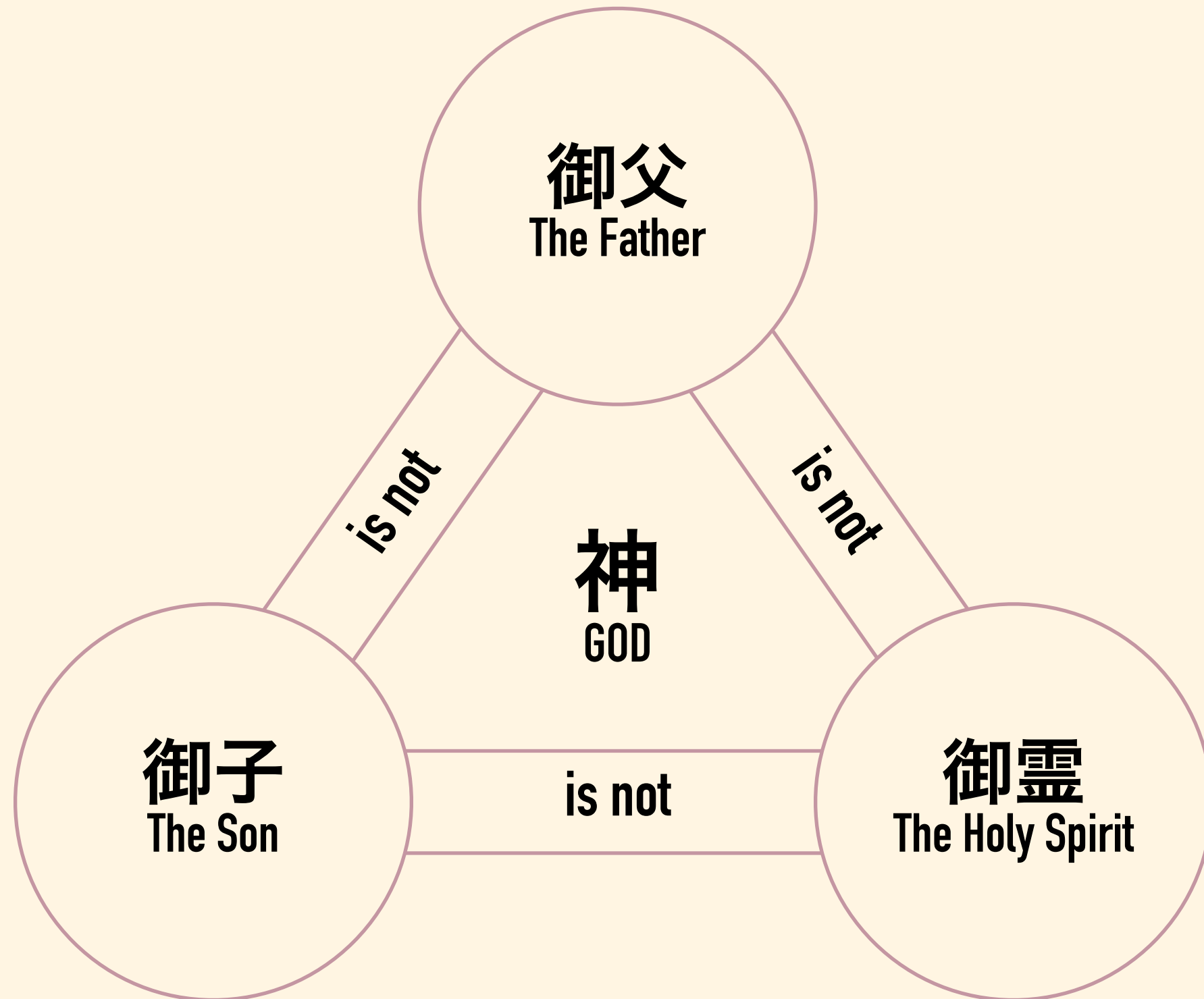
アドナイ
主は

エハッド
唯一である。

水の例え



三位一体

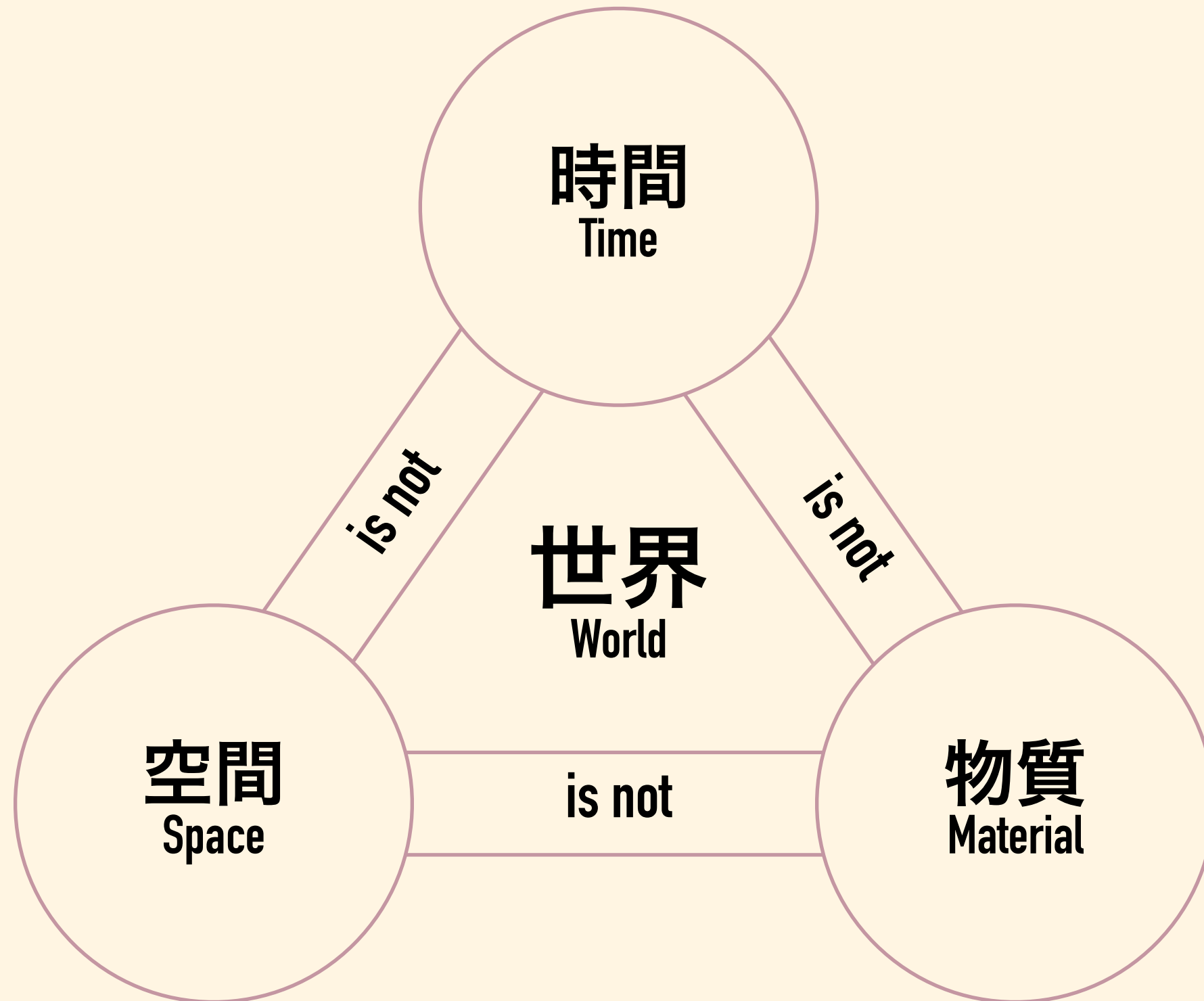




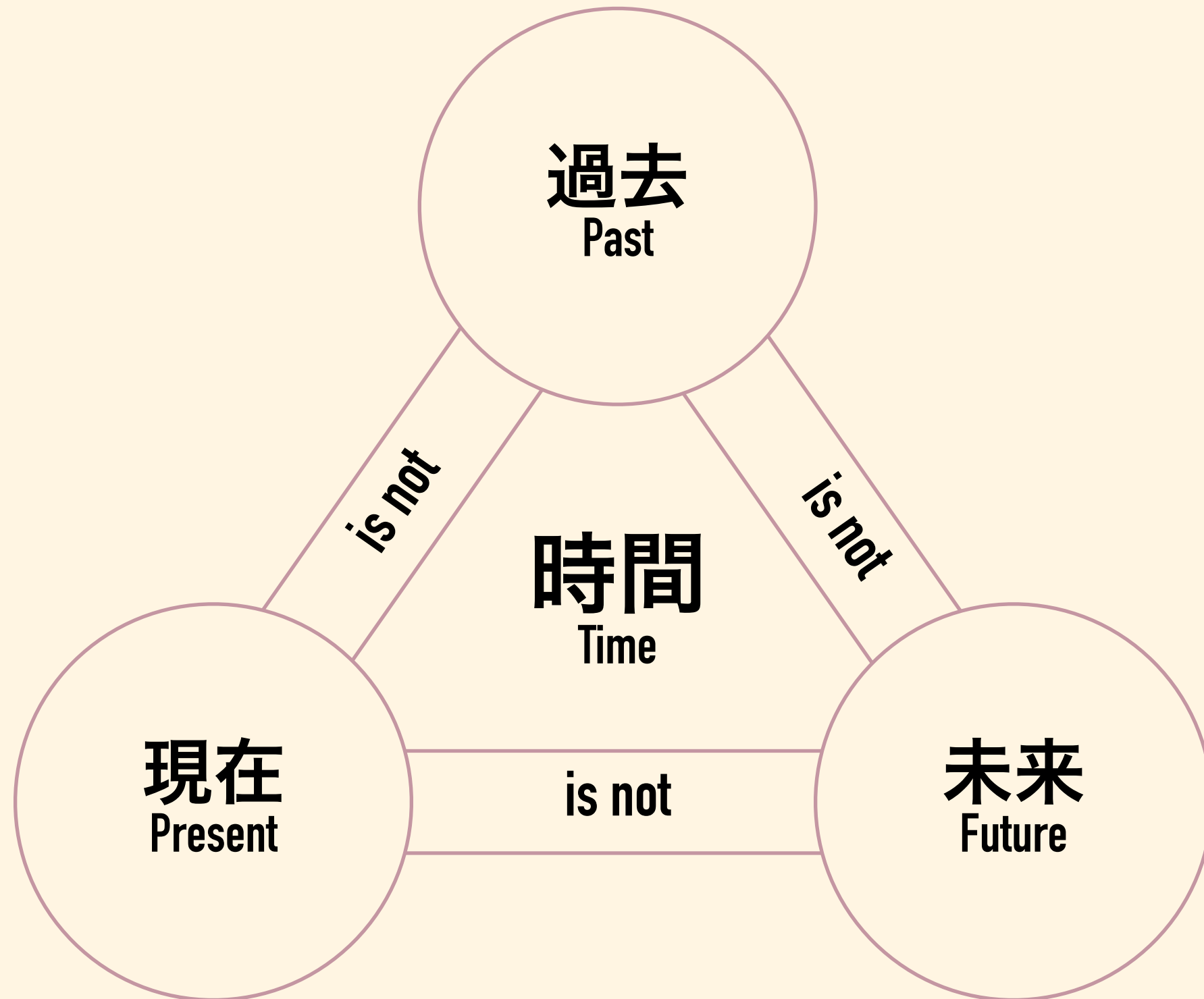
はじめに
神が
天と
地を
創造された。

創世記 1:1

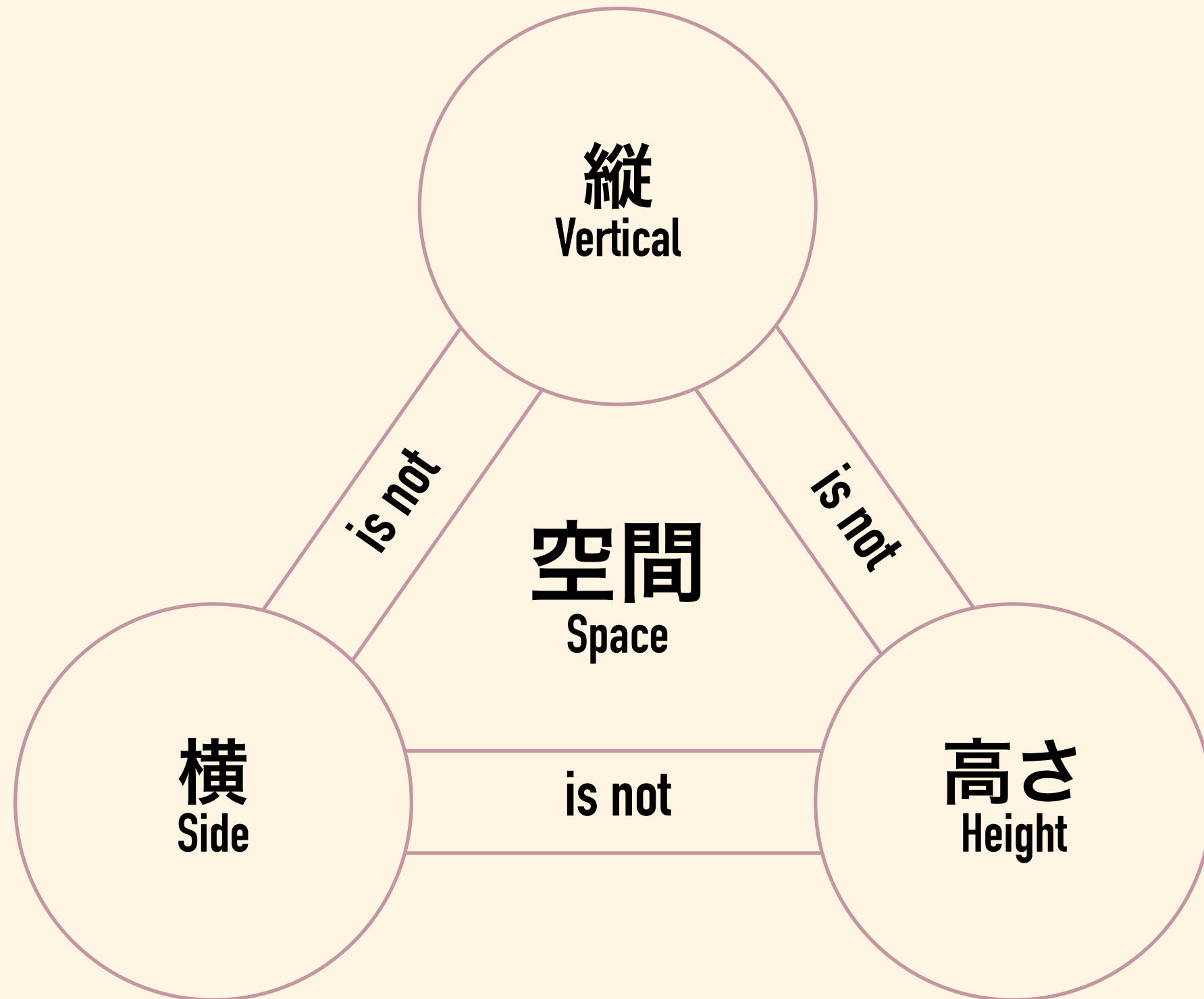
世界の構造



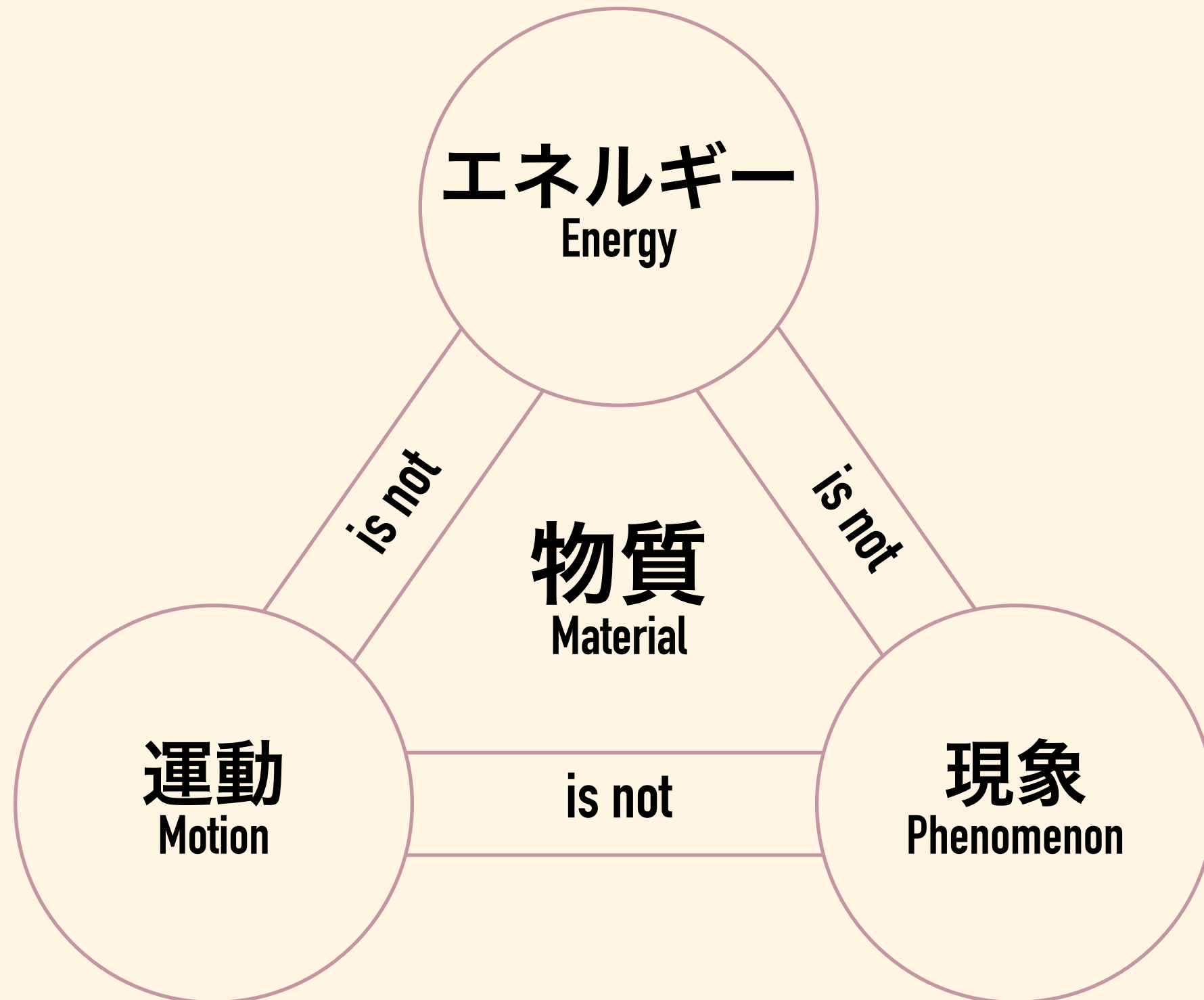
時間の構造



空間の構造



物質の構造



Section 1-2

神の喜び

交わり

Section 1-4

第1章のまとめ

神は複数でも
単一でもない

神は交わりを喜ぶ

Chapter 2

神の性質概論

Section 2-1

神の性質の分類

絕對的性質

道德的性質

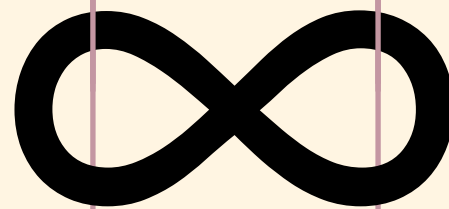
神の性質

絶対的性質

神ご自身
だけの
ご性質

道徳的性質

人の中にも
養われる
性質



Section 2-2

神の絶対的性質

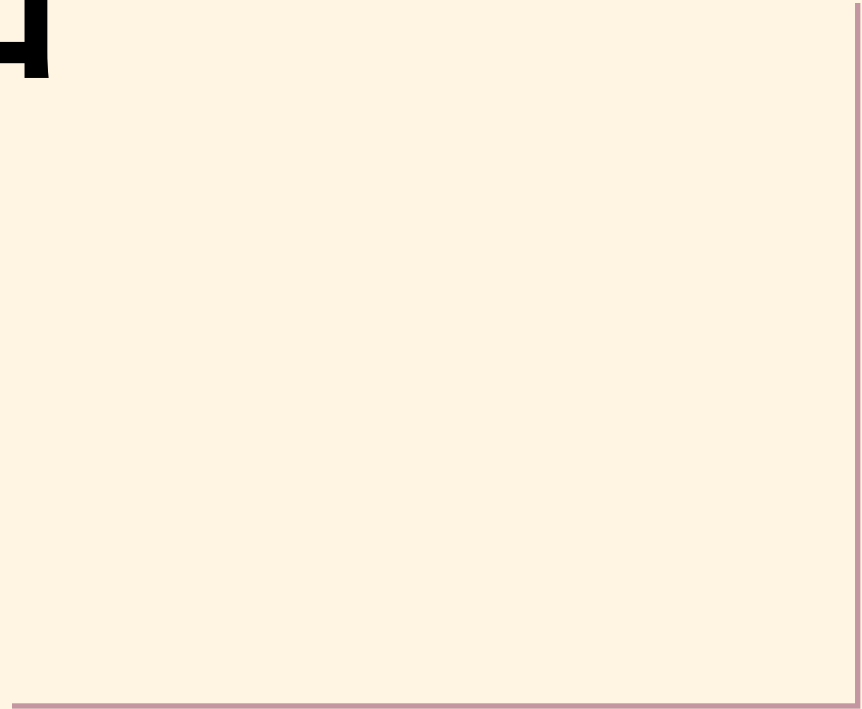
自存性

神はモーセに仰せられた。
「わたしは
『わたしはある』
という者である。」

出エジプト 3:14



全知

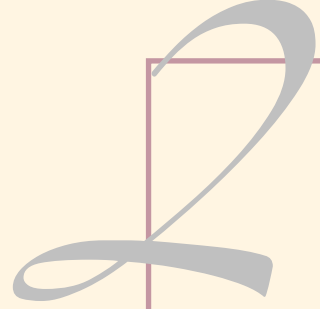


主よ あなたは私を探り
知っておられます。
あなたは 私の座るのも
立つのも知っておられ
遠くから私の思いを
読み取られます。
あなたは私が歩くのも
伏すのも見守り
私の道のすべてを
知り抜いておられます。

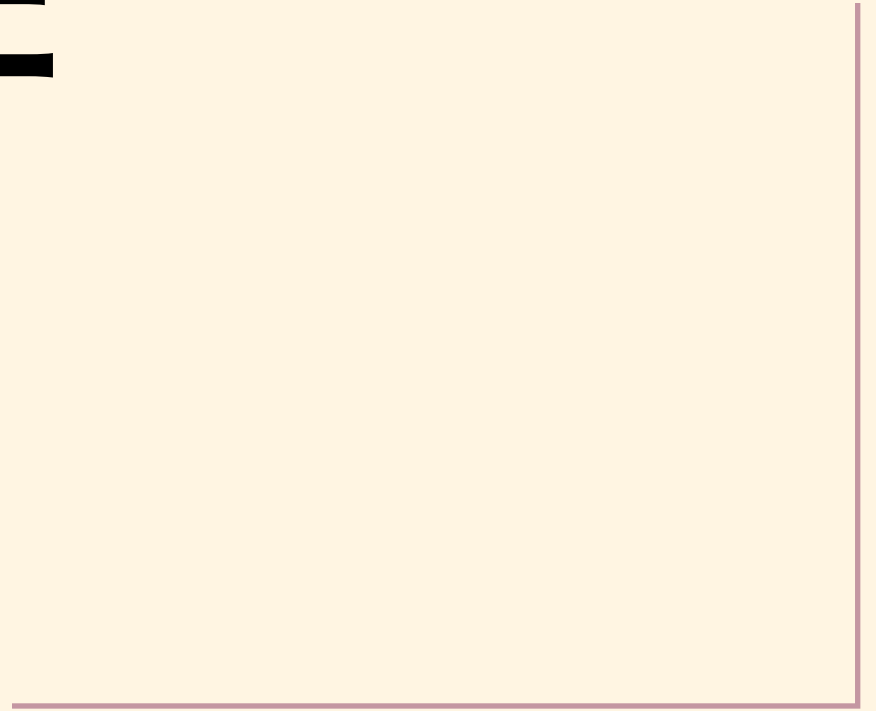
ことばが私の舌にのぼる前に
なんと主よ
あなたはそのすべてを
知っておられます。
あなたは前からうしろから
私を取り囲み
御手を私の上に置かれました。
そのような知識は
私にとって
あまりにも不思議
あまりにも高くて
及びもつきません。

**時間に
制約されない**

縛るためではなく
理解するための
全知性



遍在



私はどこへ行けるでしょう。
あなたの御霊から離れて。
どこへ逃れられるでしょう。
あなたの御前を離れて。
たとえ わたしが天に上っても
そこにあなたはおられ
私がよみに床を設けても
そこにあなたはおられます。
私が暁の翼を駆って
海の果てに住んでも
そこでも あなたの御手が私を導き
あなたの右の手が私を捕らえます。

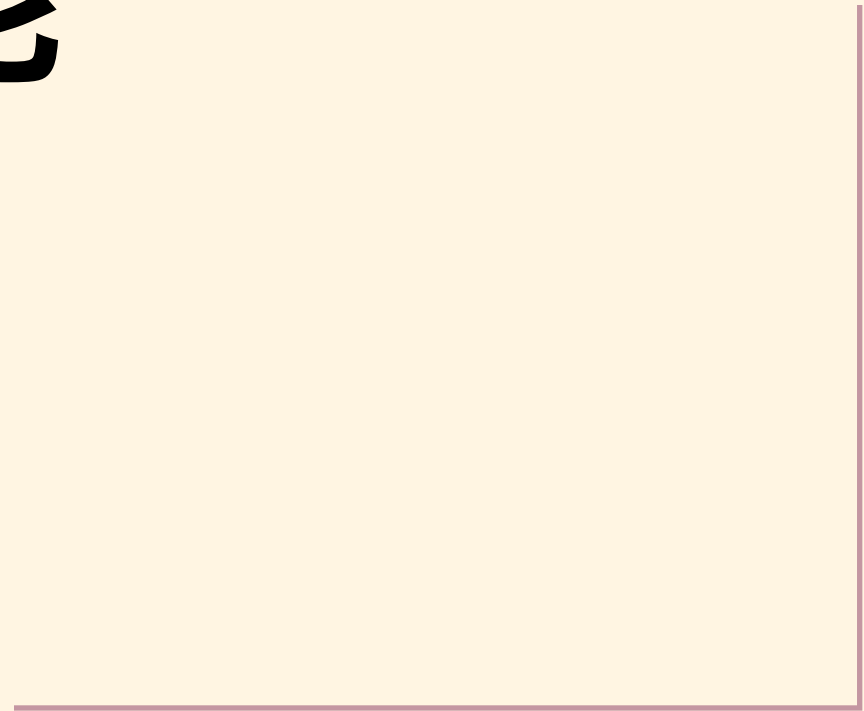
空間に
制約されない

遍在は
汎神論ではない

理解者が
共にいてくださる
遍在性



全能



あなたこそ 私の内臓を造り
母の胎の中で
私を組み立てられた方です。
私は感謝します。
あなたは私に奇しいことをなさって
恐ろしいほどです。
私のたましいは
それをよく知っています。

私が隠れた所で造られ
地の深い所で織り上げられたとき
私の骨組みはあなたに
隠れてはいませんでした。
あなたの目は胎児の私を見られ
あなたの書物にすべてが記されました。
私のために造られた日々が
しかも
その一日もないうちに。

物質に
制約されない

あなたがたは私に
悪を謀りましたが、
神はそれを、
良いことのための計らいと
してくださいました。
それは今日のように、
多くの人が
生かされるためだったのです。

悪すら善のために
用いることが
できる全能性

神は
自存される方

Section 2-2

神の道德的性質

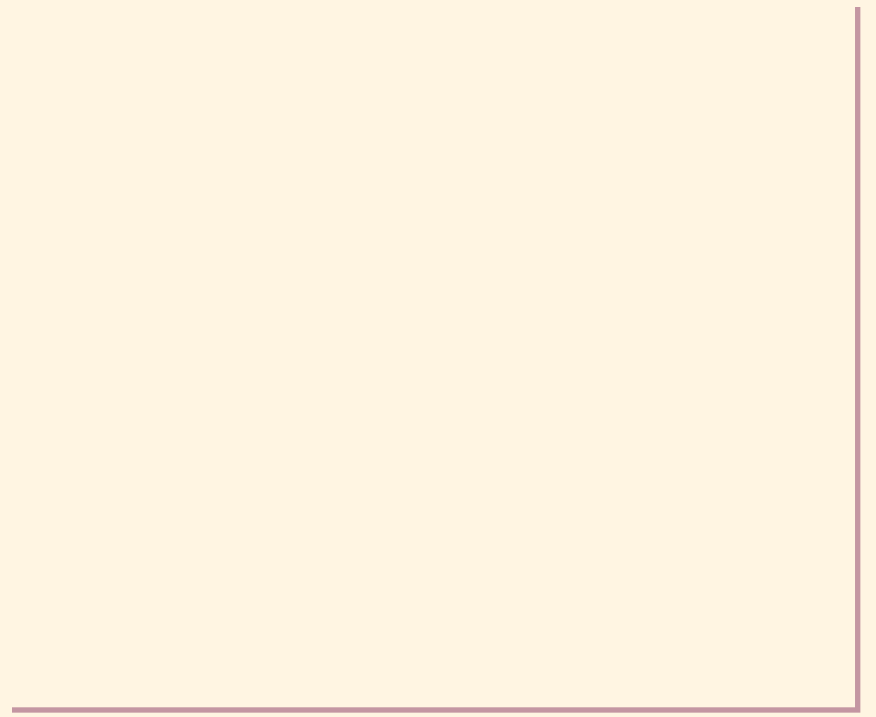
善性

良い方は
神おひとりのほか、
だれもいません。

マルコ 10:18



義



主は公正を望まれた。
しかし見よ、流血。
正義を望まれた。
しかし見よ、悲鳴。

イザヤ 5:7

罪は
公正さを
崩す

まことに、
神こそさばき主。
ある者を低くし、
ある者を高く上げられる。

詩篇 75:7

義は
公正さを
実現する



愛



しかし、
私たちがまだ
罪人であったとき、
キリストが私たちのために
死なれたことによって、
神は私たちに対する
ご自分の愛を
明らかにしておられます。

与える方

愛は人を育てます。

1コリント 8:1

訓練

わが子よ、
主の訓練を軽んじては
ならない。
主に叱られて
気落ちしてはならない。
主はその愛する者を訓練し、
受け入れるすべての子に、
むちを加えられるのだから。

ヘブル 12:5-6



“

苦しみを通ったことのない
偉大な人物がいるとは
考えられない。

『痛みと試練は
大きな知性と
深い心の形成に
不可欠だ。』

-Raskolnikov

不公正を正し
成長のために
仕える
良い方が神

Section 2-3

第2章のまとめ

神の性質は
大きく
二つに区別できる

神は
ご自分のみで
存在できる
自存される方

神は
公正と成長を望む
良いお方

Chapter 3

神についての 討論 I

Section 3-1

全知について

Question

なぜ罪を犯すと
知っていて
人間を造ったのか

選択の自由

愛さない可能性



人を造ることと
救いを
用意することは
セット

神の全知は
単なる
博識ではない

ご自分が
苦しむことも
知っている全知

Section 3-2

遍在について

Question

神がいない
場所も
あるのだろうか

天にも地にも、
わたしは
満ちているではないか。

エレミヤ 23:24

地獄

神と共に
いたくない人
のための
神のいない場所

Section 3-3

全能について

Question

なぜ神は
悪を
放置されるのか



“

神の行動を考えると、
神は、
一、悪を根絶したいと
思っているのにできない、
二、悪を根絶できるのに
それを望んでいない、
三、悪を根絶できないし
それを望んでもいない
という結論以外には
考えられない。



悪の根絶を望みながらも
それができないのであれば、
その神は無力だ。
悪を根絶できるのに
それを望まないなら、
その神は悪意に満ちている。
しかし、
神に悪を根絶する力があり、
また彼も
それを望んでいるとするならば、
なぜいまだに
この世に悪が存在するのだろうか。

-Epikouros

神とは

悪を根絶
できない
無力者？

or

悪を根絶
しようと
しない
悪意の
持ち主？

神は悪を
根絶する

だれか、私の言うことを
聞いてくれる者はいないものか。
—ここに私の署名がある。
全能者が私に答えてくださるように

あなたには、
すべてのことができること、
どのような計画も
不可能ではないことを、
私は知りました。

ヨブ 42:2

神の視点

確かに私は、
自分の理解できないことを
告げてしまいました。
自分では知り得ない、
あまりにも不思議なことを。

ヨブ 42:3

自分の視点による 理解力の限界

神の 「待て」 への理解



“

我々がどんな暗闇に
いようとも、
イエスはさらに深い
暗闇の中にいる

-Cornelia Johanna Arnolda ten Boom

神のことばである
キリスト
という説明

神のあり方を
捨てる所に
働いた
神の全能性

Section 3-3

第3章のまとめ

神は
人の全てを知って
なお
人を求められる方

神は
神を拒む人の
ための
神のいない場所を
用意された

神は
人と共に苦しむ
全能者

Chapter 4

神についての
討論 II

Section 4-1

義について

Question

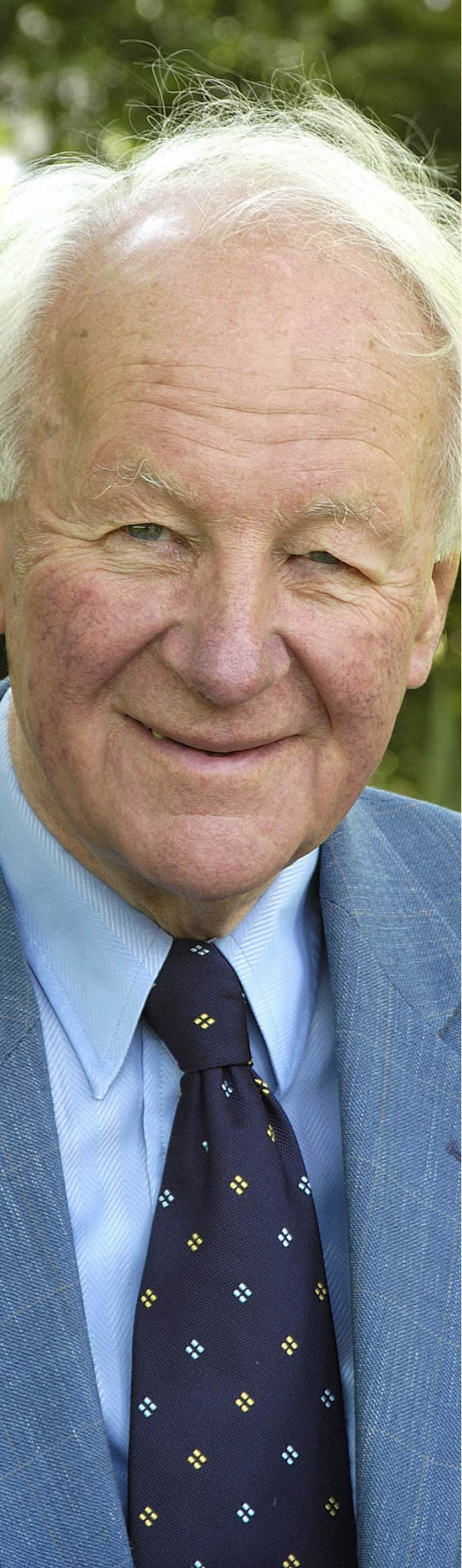
義なる神が
なぜ一時的にでも
悪の存在を
許すのか

主は、
ある人たちが遅れていると
思っているように、
約束したことを
遅らせているのではなく、
あなたがたに対して
忍耐しておられるのです。
だれも滅びることがなく、
すべての人が
悔い改めに進むことを
望んでおられるのです。

忍耐して
待つ神

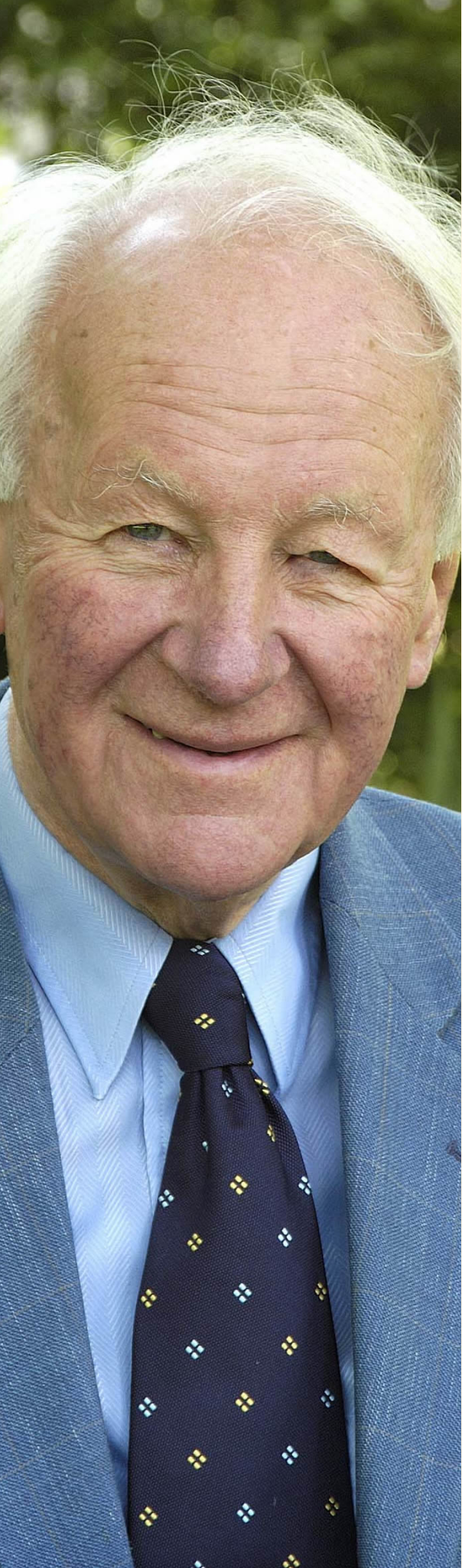
重荷を運ぶ

最悪から
最善を生み出した
キリストの十字架



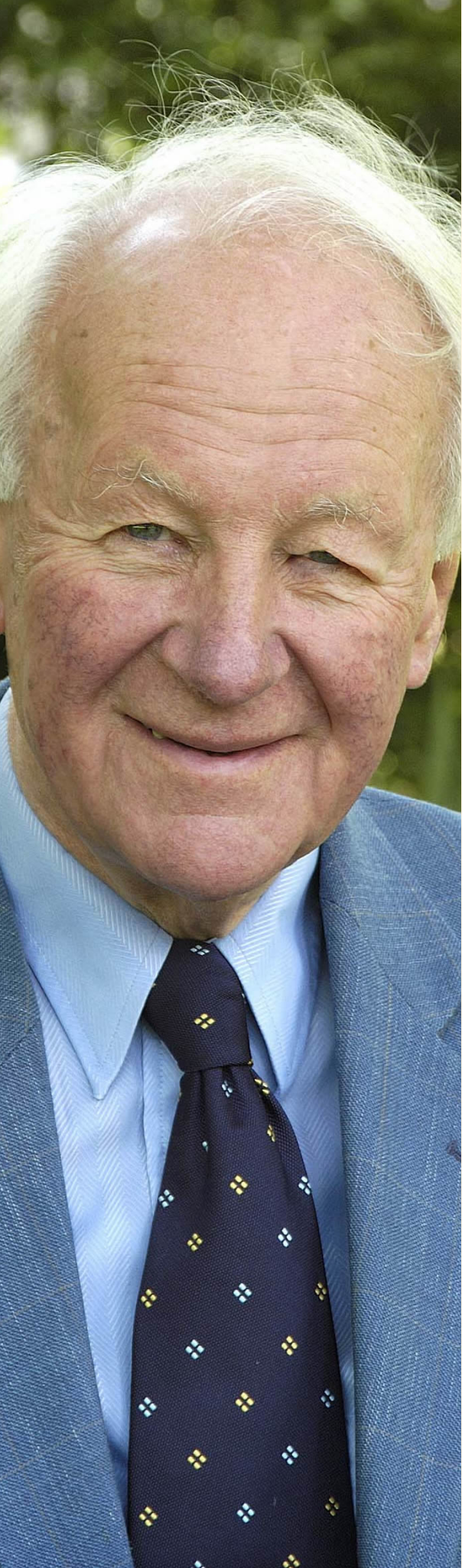
“

十字架がなければ、
自分自身の力で
神を信じることなど
できなかった。
苦しい現実にはさらされたとき、
悲しみとは無縁の神を
拝める人物など、
一体どこに 있을까。



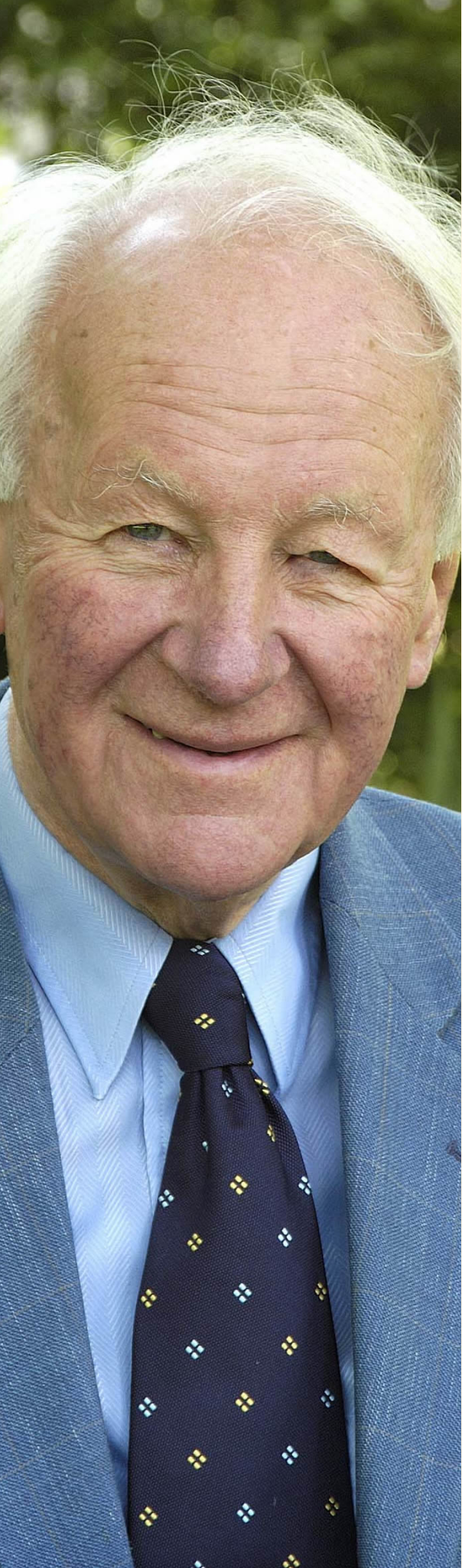
“

アジア諸国で、
私はいくつもの仏教寺院を
訪ねた。
寺院の中で、
私はかしこまって
仏像の前に立つ。
手と足を組み、
目を閉じて、
口元にはかすかな笑みを
浮かべている仏像。



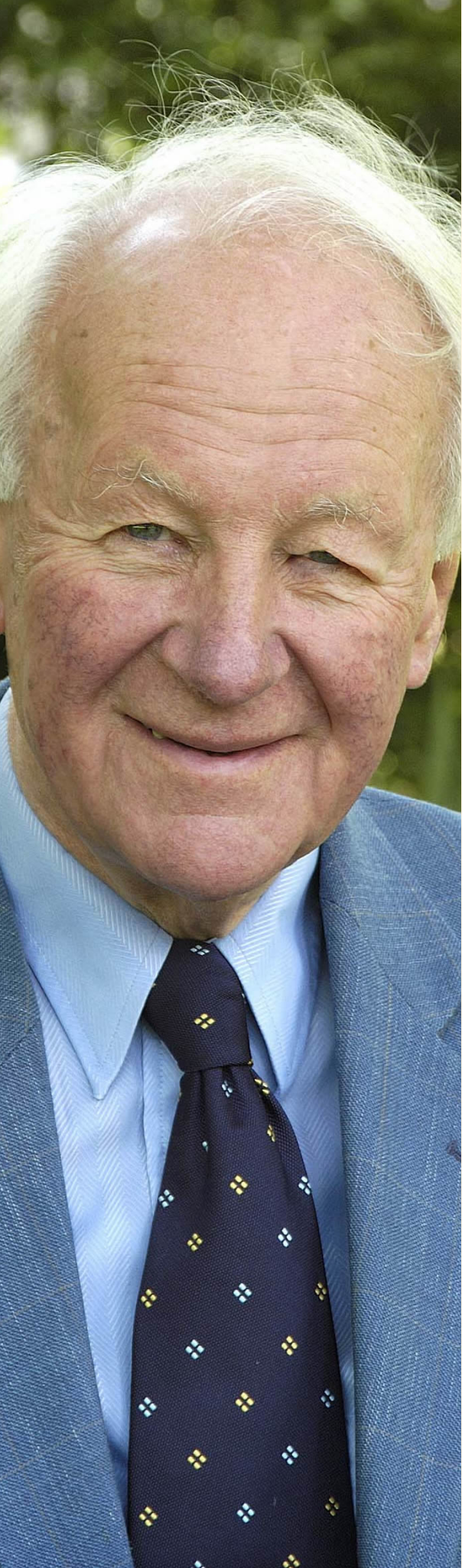
“

超然と、
心ここにあらずといった
顔つきの彼らを
見つめるたびに、
いてもたってもいられない
気持ちに迫られ、
私は急ぎ足で
その場を立ち去る。



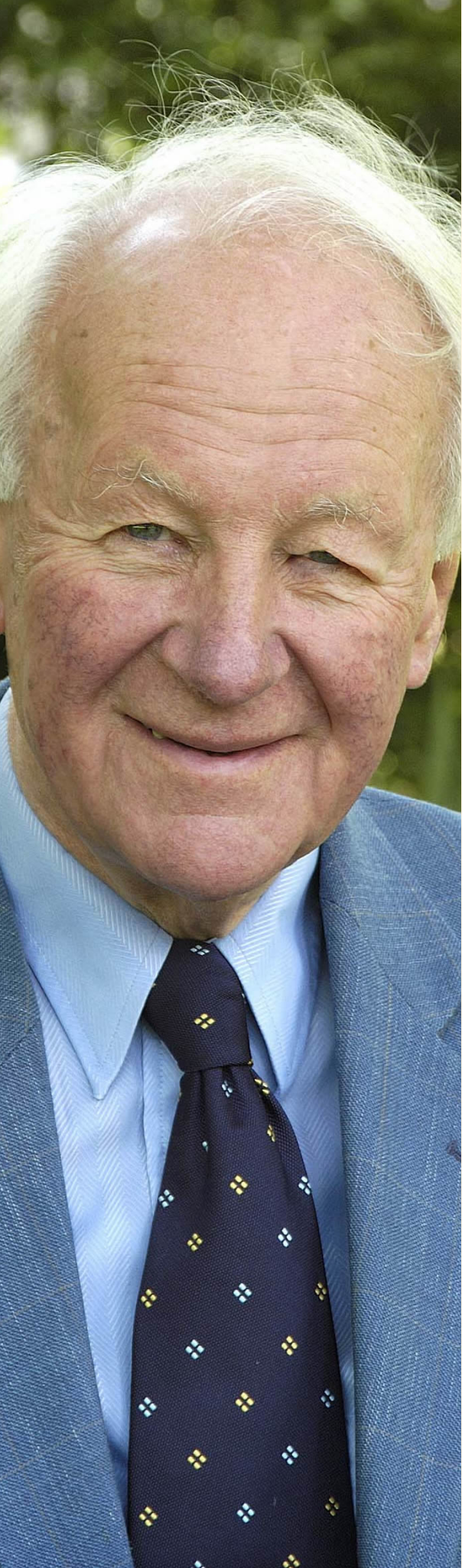
“

すると仏像の代わりに、
十字架の上で寂しく、
痛みに身悶えしながら
拷問に耐える人の様子が、
釘が刺さったその手足が、
傷だらけの背中が、
見る影もなくなったその体が、
いばらの冠で
血だらけになった眉が、
からからに乾いた口と
どうしようもない
渇きのイメージが浮かび上がり、



“

『神に捨てられた奈落の底』の
暗黒が広がっていく。
ああ、
これこそ私のための
神ではないか！
苦悩や痛みとは
関係ないはずのその人が、
神としての特権を投げ捨て、
血の通う人間として
この世界に生まれた。



“

彼は私たちのために
苦しんだのだ。
そして彼のおかげで、
我々人間は
苦悩への対処法を
学んだのだ。

—John Robert Walmsley Stott

神は苦悩を
通った

1
神は悪を善のために
用いることができる

2
神は固有の苦悩を
考慮した対応ができる

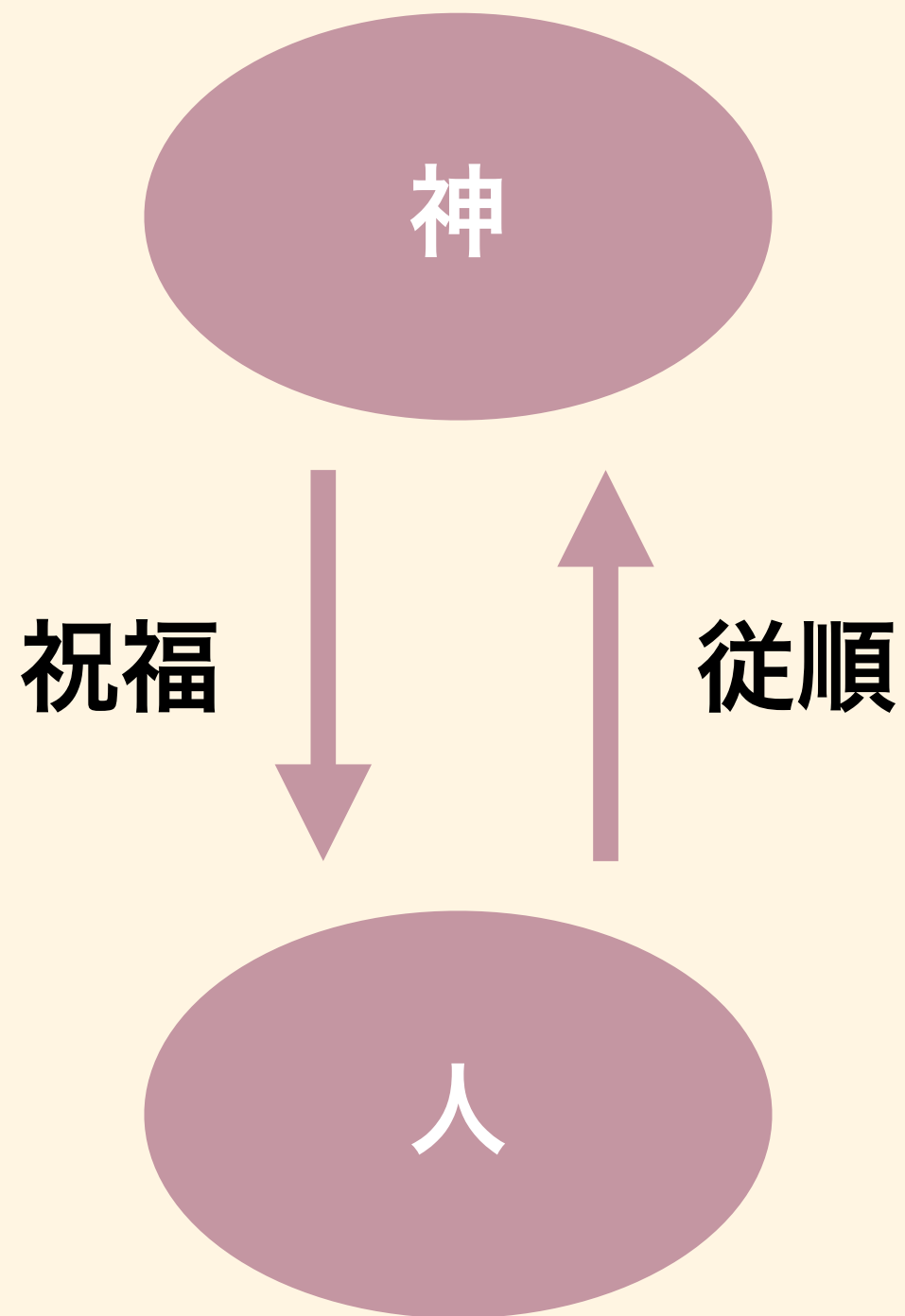
Section 4-2

愛について

Question

結局従順な人しか
愛さない
条件付きの
愛ではないのか

間違った構図





“

面倒なものは抜きにして、
我々が自分の好きなやり方で
幸福になれるように
して下さい、
と神に願っても、
それは無駄というものである。



“

神には、ご自身と
結びついていないような
幸福や平和を与えることが
できないのだ。
もともとそんなものは
ないからである。
神から離れた幸福や平和
などというものは、
そもそも
存在しないのである。

—Clive Staples Lewis

正しい構図

神のいる
世界

幸福、平和
etc



神のいない
世界

不幸、不和
etc



Appendix

付録

Question

なぜ小さな
子どもを
虐殺するような
ことをされるのか

エリシャはそこから
ベテルへ上って行った。
彼が道を上って行くと、
その町から
小さい子どもたちが出て来て
彼をからかい、
「上って来い、はげ頭。
上って来い、はげ頭」
と言ったので、

彼は向き直って
彼らをにらみつけ、
主の名によって
彼らをのろった。
すると、森の中から
二頭の雌熊が出て来て、
子どもたちのうち
四十二人をかき裂いた。

小さな子ども

若い男

上って来い

Section 4-3

第4章のまとめ

神の義は
愛と
結びついて
忍耐強い

神の愛は
条件付き
ではない

Whole Summary

全体まとめ

Summary Of Introduction

序論のまとめ

神への理解が
神との関係に
表れる

Chapter 1 Summary

第1章 神の統一性 のまとめ

神は交わりを
喜ばれる

Chapter 2 Summary

第2章 神の性質概論 のまとめ

神には
絶対的・道德的
な性質がある

Chapter 3 Summary

第3章 神についての討論 I のまとめ

神の
絶対的性質は
苦しみと
無関係ではない

Chapter 4 Summary

第4章 神についての討論II のまとめ

神の
道徳的性質は
常に恵み深い

EOF

・ 参考資料

ルイス・スペリー・シェイファー『聖書の主要教理』聖書図書刊行会、1985年
ジェームズ・ブライアン・スミス『エクササイズー生活の中で神を知る』いのちのことば社、2016年
ヘンリー・シーセン『組織神学』聖書図書刊行会、1961年
ヘンリー・M・モリス『科学は聖書を否定するか』CRJ出版、2006年
ウィリアム・マクドナルド『この日を主とともに』ゴスペルフォリオプレスジャパン、2014年
リー・ストロベル『それでも神は実在するのか？―「信仰」を調べたジャーナリストの記録』いのちのことば社、2005年
C・S・ルイス『キリスト教の精髓』新教出版社、1977年
中川健一『3分でわかる！聖書』文芸社、2017年
中川健一『3分でわかる！聖書2』文芸社、2018年
ジョン・レノックス『コロナウイルス禍の世界で、神はどこにいるのか』いのちのことば社、2020年
ライス・ブルークス『神は死んだのか 9の証拠から無神論に挑む』いのちのことば社、2015年

・ 改版履歴

2020年10月	初版
2020年10月	改版
2020年11月	改版